

国語科学習指導案

千葉県立千城台西小学校

指導者 山本 央絵

1 単元名 本をさがして読む

2 単元の目標

- 生き物の知恵に興味をもって、楽しく学習に取り組もうとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- 時間的な順序、事柄の順序を正しくとらえて読むことができる。 (読む能力)
- 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。 (読む能力)
- 文の中における主語と述語の関係に注意することができる。 (言語についての知識・理解)

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解
・すみれとありの共生関係に興味をもって楽しく読もうとしている。 ・図書室の様子に関心を持ち、進んで調べてみたい生き物の本を探して読もうとしている。	・すみれの成長の特徴について、時間的な順序、事柄の順序を正しくとらえて読んでいる。 ・文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。	・文の中における主語と述語の関係に注意して読んでいる。

4 単元について

(1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材について

単元を貫く言語活動として、『生きものひみつカード』を書くことを位置付けた。『生きものひみつカード』には、自分が「すごいな」「不思議だな」と思った生き物の知恵や生態を、A4サイズの紙に書く。カードの上段に絵や写真を、下段に読んでわかったことや知らせたいことを紹介する文とお勧めの理由を載せる。学習の最後には、クラスの友だちに紹介したり、家の人に知らせたりする活動を展開する。第1・2学年「C 読むこと」の言語活動例(2)ウ「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む活動」及びオ「生き物について書かれた本を読み、初めて知ったことや思ったことを紹介する活動」に適する学習であると考えた。

学習の最後に『生きものひみつカード』を作ることを知り、目的意識を持って学習を進める。植物や昆虫などの生きものについての並行読書を行いながら、教材文『すみれとあり』を読み取る。時間や空間を表す言葉に着目しながら、論理的な構成を確かに読み取り、『すみれとあり』についての『生きものひみつカード』を作成する。そこで培った生き物についての興味・関心を生かして、並行読書の中で一人一人が見つけた生き物の知恵や生態について簡単にまとめる。2学年にとって、本を要約することは難しいが、自分が見つけた秘密が書いてあるページや文を選ぶために、読み込んだり、たくさん見つけようと何冊も読んだりしてほしい。友だちや家の人にも読んでもらうという目的意識をもたせることで、生き物の本へのさらなる読書意欲が喚起されるものと期待している。

(2) 単元で身につけさせたい力

○時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む力

○文章中の大事な言葉や文を書き抜く力

教材文『すみれとあり』は、思いがけない場所に咲いているのはなぜかという問いかけに対し、その理由を解明していく論理的な構成をもった尾括型の説明文である。すみれの種子の飛ばし方は、写真と本文の言葉を対応させながら順序が読み取れるようになっている。すみれはありに食料を、ありはすみれに仲間を増やす場所を提供し、互いに助け合って生きていることを無駄のない言葉で説明している。

論理的な説明文の読み取りに苦手意識を抱いている児童が多い。写真や絵を並べ替えることで、大事な言葉や文に気付けるようにしていきたい。その際、「～のあと」「そして」「しばらくすると」などの順序を表す言葉にも着目し、言葉や文を整理し、正しく読み取れるようにしていきたい。

本単元での時間的な順序・事柄を意識した読みの学習は、中学年における「大事なことを見つけながら読む」や「中心を見つけながら読む」ことの力へとつながっていく。

(3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

本学級の児童は、1 学年の学習の中で、度々本や図鑑にまとめてきた。「だれがたべたのでしょうか」の教材文では、問いと答えからなるクイズ本を作り、「はたらくじどう車」の教材文で学習した構成をもとに、「1 年 2 組はたらくのりものずかん」を作った。それらを家の人に読んでもらったり、教室や図書室に展示したり、読み合うことを楽しんできている。

音読は毎日の家庭学習として取り組ませているが、文章を読む力に個人差がある。文の中から根拠を見出すのではなく、感覚的な答えを出してしまっている児童や、自分の考えを言葉でうまく言い表せない児童も何人いる。文学的な文章でも説明的な文章でも、本文に印をつけたり、線を引いたりしながら記述をもとに考える学習を行ってきた。本単元でも同様な活動を行い、大事な言葉を見落とさずに書き抜き、整理していきたい。

文を読むこと書くことに抵抗をもつ児童も多いため、語彙力を高め、文章に親しむことを目的として、2 学年になってから日記を始めた。「B6 サイズのノートに 9 行書く」ことを約束としている。「知らせたいことを話そう」で学習した「はじめに」「つぎに」「そして」「おわりに」などの順序を表す言葉を正しく使っている児童の日記を紹介したりすることで、意識付けを行っている。

5 児童の実態 (略)

6 指導計画 (全 1 1 時間)

時	学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
1	<p>○単元全体の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマトが体を守る秘密について知る。 ・『生きものひみつカード』を作ることを知る。 ・様々なところで咲いているすみれの写真から驚きや疑問を発表し合う。 ・「すみれとあり」を読んで感想を書き、発表し合う。 	<p>○生活科で学習しているミニトマトに体を守る秘密があることを知り、生き物に対する関心を高める。</p> <p>○教師が作成した『生きものひみつカード』集を見せ、児童が秘密を探す意欲を喚起する。</p> <p>○様々なところで咲いているすみれの写真から驚きや疑問を自由記述し、興味をもたせてから教材文を読む。</p>

			◇「すみれとあり」に興味・関心をもつことができたか。
2	○教科書P42・43の見開きページの絵をもとに、図書館の様子や利用方法を知る。 ・『生きものひみつカード』を作るために、生きものに関する本を探す手立てを知る。		○教科書の絵を参考にするよう伝える。 ◇図書の様子に興味をもち、自分の関心の高い生き物についての本を探そうとしているか。
3	○生きものひみつをさぐるために読み、「生きものひみつカード」を作るという学習計画を立てる。 ・問いの文「どうしてこんな場所にさいているのでしょうか。」を押さえる。 ・全体を4つのまとまりに分ける。	並 行 読 書	○すみれが仲間を増やす秘密を探っていくことを押さえる。 ○「こんな」という驚きを感じられるように言葉の意味を押さえる。 ◇本文を4つの部分に分け、学習計画を立てることができたか。
4	○①～③段落を読んで、すみれの咲く場所について話し合う。 ・いろいろな場所に咲くすみれについて話し合う。		○写真と本文を対応させて読むようにする。 ◇すみれの様子を読み取れたか。
5	○④～⑥段落を読んで、すみれが種を飛ばす様子を、順序に気を付けて読み取る。 ・写真を並び替える。 ・すみれが実をつけてから、種をとばすまでをワークシートに書く。		○問いの文を確認するために黒板に掲示する。 ○すみれが種を飛ばす様子を順序良く読むために大事な言葉を書き抜き、理解を深める。 ◇すみれの変化を順序に気をつけて読み取り、読み取ったことを写真に対応させて書いているか。
6 本 時	○⑦～⑨段落を読んで、ありが種を運ぶ様子を、順序に気を付けて読み取る。 ・絵を並び替える。 ・ありが種を運ぶ様子を3つの語句「見つける」「はこぶ」「すてる」をもとにワークシートに書く。		○問いの文を確認するために黒板に掲示する。 ○ありが種を運ぶ様子を順序良く読むために大事な言葉を書き抜き、理解を深める。 ◇ありが種を運ぶ様子を順序に気をつけて読み取り、読み取ったことを絵に対応させて書いているか。
7	○⑩、⑪段落を読んで、仲間を増やすためのすみれの知恵について話し合う。 ○すみれが仲間を増やす秘密を、「生きものひみつカード」にまとめる。		○問いの文に対する解答文を見つける。 ○次時からの学習で、自分たちが一人1ページ作っていくことを確認し、「すみれが仲間をふやす秘密」についてまとめていく。 ◇解答文を見つけることができたか。
8	○「生きものひみつカード」で書きたい生きものを決めて、本を読む。		◇生き物についての本を進んで読んでいるか。
9 ・ 10	○「生きものひみつカード」を作る。 ・「すごいな」「不思議だな」と思った動植物の知恵や生態について、絵と文で書く。		○絵を描くのが難しい場合は写真でもいいことを伝える。 ◇知らせたいことを明確にして書くことができたか。




1 1	○カードを友だちと読み合い、友だちの文章の良さを見つける。	◇発表したり、感想を交流したりする中で、友だちの文章の良さを見つけている。
-----	-------------------------------	---------------------------------------

7 本時の展開 (6 / 1 1)

(1) 本時の目標

○ありが種を運ぶ様子について読み、順序よく読むことができる。(読むこと)

(2) 展開

学習活動と内容	教師の支援 (○) と評価 (◇)
<p>1 大段落①の問いの文を読み、本時の目あてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ありがどのようにたねをはこぶのか読もう。</p> </div> <p>2 ありが種を運ぶ様子を順序よく捉える。</p> <p>(1) ありがの様子に気を付けながら、38 ページを一斉読みをする。</p> <p>(2) ありが種を運ぶ様子を表す文に線を引く。</p> <p>① ありが、地面におちているすみれのたねを見つけました。</p> <p>② ありがは、たねをじぶんのすの中へはこんでいきます。</p> <p>③ しばらくすると、せっかくはこんだたねをすの外にすてています。</p> <p>(3) 配られた絵を並べ、簡単な文で表す。</p> <p>①  ありがたねを見つける</p> <p>②  ありがたねをはこぶ</p> <p>③  ありがたねをすの外へすてる</p> <p>3 ありがたねを運ぶ様子について読みを深める。</p> <p>(1) ありが種を運ぶ様子を話し合う。</p> <p>○並べた訳を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①は種を見つけている。 ・②はありが巣の中に種を運んでいる。 ・③はありが種を巣から出しているから捨て 	<p>○問いの文を確認し、すみれがなかまを増やす秘密を探っていることを思い起こさせる。</p> <p>○前時での学習を振り返り、すみれは近くの地面に種を落としていること、高い石垣やコンクリートの割れ目に咲いている秘密にありが関係していることを思い起こさせる。</p> <p>○順序に気をつけながら読むよう意識付ける。</p> <p>○「ありが」「ありがは」の主語に気付かせる。</p> <p>○③の文の主語を考えさせ、③の文も「ありが」が主語の文であることを押さえる。</p> <p>○拡大した教科書に線を引き、照らし合わせて確認できるようにする。</p> <p>○ありがの動きがわかる文は3つであることを意識させる。</p> <p>○3枚の絵を児童一人一人に配布し、順番に並べさせる。</p> <p>○本文を丸写ししている児童には、一言で言える大切な言葉に絞るよう助言する。</p> <p>○読み取りにつまずいている子や考えが出しにくい子には、線を引いた文から探すよう助言する。</p> <p>○書けない児童には、書き出しを与えたワークシートを用意する。</p> <p>◇ありが種を運ぶ様子を表す順序に着目して絵を貼っているか。(観察・ワークシート)</p> <p>○なぜその絵を選んだのかを説明させることで、「見つける・運ぶ・捨てる」という大事な言葉に着目させる。</p> <p>○拡大した教科書と照らし合わせながら、根拠を話し合わせる。</p> <p>○友だちの説明を聞いて、自分の考えと比べたり、足</p>

ている。

- ・①は種に白いかたまりがついていて、③はなくなっている。

○ありが種を運ぶ様子を説明する。

まず、ありが種を見つけます。つぎに巣まで運びます。そして、巣の中で白いかたまりだけを食べて、巣の外に捨てます。

(2)捨てられた種について考える。

○捨てられた種はどんな様子か話し合う。



- ・白い種がなくなっているから、(a)の種だと思う。
- ・教科書に「たねは食べないようです。」と書いてあるので、(b)の種は違う。
- ・白いかたまりはありが巣の中で食べたのかもしれない。
- ・白いかたまりはありが好きなものだろう。
- ・種がかじられると芽が出なくなるだろう。

○捨てられた種はその後どうなるのか話し合う。

- ・高い石垣やコンクリートの割れ目に捨てられて、そこで芽を出すのかもしれない。

4 本時を振り返り、学習の感想を書く。

- ・すみれはありの好きな白いかたまりを種につけて、運ばせているから頭がいい。
- ・すみれはありのおかげでいろいろな場所に仲間を増やせることがわかった。

りないところを補い合ったりすることで、読みを深めさせる。

○隣の席の友達に絵を示しながらわかりやすく説明させる。

○「まず」「つぎに」などの順序を表す言葉を使っている児童を称賛し、順序を意識させる。

○2つの絵を提示して(6)の絵と(7)の絵と比べることで、本文の「たねは食べないようです。」や「白いかたまりだけがなくなっています。」という表現に気付かせる。

○種がついていた白いかたまりがなくなるのはなぜか考えさせ、白いかたまりはありのえさであることに気付かせる。

○「しばらくすると」という時間の経過を表す言葉の意味を抑え、鉛筆で囲ませる。

○捨てられた場所がコンクリートの割れ目や高い石垣であることを押さえる。

○今日の学習を振り返り、すみれの種はありの巣の近くに落ちていることを押さえる。

○すみれやありについて分かったことの感想を書くようにさせる。

○すみれが色々な場所に花を咲かせる秘密の答えの部分を読んでいくことを知らせ、次時の意欲付けとする。

◇ありがしたことを考え、感想が書けたか。

(発言・ワークシート)